



**才能教育
全国大会**

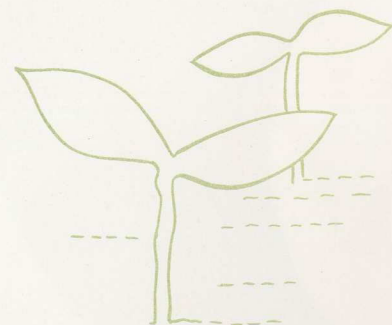
1958



どの子も育つ……育て方一つ

才能は生れつきのものではない

総ての子供の育つ教育方法の提唱



開催日時

昭和33年3月30日(日曜)

第6回卒業式 午後1時

式辞……会長 鈴木 鎮一

卒業証書授与

お祝いの言葉…名誉会長 徳川 義親

合奏と合唱「子供の幸」

教育部職員及び父兄を中心
とした……加藤 潔

第4回全国大会 午後2時

ヴァイオリン演奏会

(出場児童 1500人)

閉会の辞

講演……会長 鈴木 鎮一

演奏

合唱

会場

東京都立体育館(千駄ヶ谷)

どの子ども育つ教育の探究

鈴木 一

母国語はどここの国の言葉にしても、それぞれ複雑なむづかしい約束の中に、極めて多くの言葉から組立てられているのです。

二十数年前のことですが、

「日本中の子供達……世界中の子供達が皆、母国語を自由自在に話している」

という事実ふと気がつきました。このことは、どの子ども高い能力へ育ち、どの子ども優れた能力を発揮しているという事実の発見でした。

これは私にとって、実に驚くべき重大な問題であったのです。

何故ならば、私も昔からの常識に従って、学力やその他の能力が延びない子供達は、それが生れつきの低い能力の人として生れている為であると考えていたからです。ところがどうでしょう、従来大人達が努力して育てても、あまり能力の育たなかった子供達でさえも、母国語だけは立派に話す高い能力に育てられているのです。一体これは何という大きな矛盾でしょう。

世界中の子供達をすくすくと育て延ばすことの出来る母国語の教育の事実、次のような重大な問題を立証しているものだと思はるのです。

先づ第一には、すべての乳児は、高い教育の可能性をもって生れている、ということです。それは今迄私共が考えていたような低い存在ではなく、生れて後の育て方ひとつで、どの子供でも、少なくとも母国語に示す優れた能力の高さを発揮出来る本質を与えられているということです。

第二には、乳児-幼児-少年時期に能力を育てないでおけば、どの子供でも、将来の能力発揮の上に被害を蒙るものであり、若し極端な実験をするならば、どの子供でも一人残らず白痴のような低能力の人にしてしまうことが出来ることを私は知りました。丁度植物の苗を育て害ねたり、枯らしてしまう条件と同じであり、案外わけなく子供達は大きな一生の被害をうけるのであります。

第三には、すべての才能は生れつきのものではないということです。日本で育てばすべての子供に日本語の才能が育ち、フランス語の才能はフランスで育つすべての子供に育てることが出来るのです。私は多年の実験によって、音楽の才能がどの子供にも育つものであり、若し乳児時代から母国語のような条件で育てるならば、必ず立派に育つものであることを知ったのです。

第四には、優れた教育が行われるならば、どの子供もよく育つということです。

母国語を育てるその教育法、それはなんと世界一の優れた教育法でしょう。人間の能力を育てずには置かない優れた条件と方法が、立派にその中に示されているのです。私は二十数年間その教育法を探究して、私共の教育法、即ち才能教育法をつくったのです。子供達が無能なのではないのです。

之を育てる大人の側が、人間を育てることについて何と未熟であり又うかつであったということだけが私共の反省として考えられます。

科学がこんなにも発達した時代に住みながら、私共は、まだ人間自身についてよく知らない時代に住んでいるようなものではありませんか。

以上のような反省から、人間の本質についての探究、新しい教育の方法の研究やその実証を使命として、私共の才能教育研究会は生れたのです。

三才四才の多くの幼児を交えた千数百名の子供達の今日の大合奏は、之をお聞き下さるあなた方に、人間とその本質について又は地上のすべての子供の幸の為に、私共大人達が今後何をなすべきかを、強く訴えることだろうと思います。この芸術運動は、音楽家をつくる運動ではなく、やがてすべての人々が美しく高い芸術性をもったよい世界をつくる為の推進運動の一つであるのです。

TALENT EDUCATION

by Shinichi Suzuki

The languages of all countries, consists of complicated promises and are constructed with numerous vocabularies.

More than 20 years ago, I became aware of the fact that every child in Japan and even all children in the world speak easily their mother tongue.

This was the discovery of acknowledging that all children are displaying wonderful abilities, and that they could be brought up to perform these high abilities.

This was a surprising and important problem to me because I understood from our common sense that those children who fail in study and in other fields are thought to be born as a person with low ability. But the fact is though the adults struggled and failed to improve these children, they all grew up to speak their native language with high abilities.

What a great self-contradiction this is.

This fact, that all children in the world can easily be educated to speak their mother's language proves the following important problems.

No. 1 All babies are born with the possibilities of attaining high education. This ability is much higher than we think and by giving proper education they can at least develop their abilities to a high standard equal to those of speaking languages.

No. 2 If we neglect to develop their talent during the age of nursing-infant-to childhood, all children will receive some damage in exhibiting their future talents. If certain extreme experiments could be performed I think that the child could be deteriorate to an idiot. The condition is the same as if we failed to raise a sapling or to wither it, and the child will easily receive the damage which will stick through his life.

No. 3 All talents are not endowed. A child brought up in Japan will naturally develop his talent in Japanese language and so the same with those who are brought up in France.

From my long experiment I have found that the musical talent can also be developed among all children provided that the same method as the native language method is given from one's nursing.

No. 4 If proper education is performed all children can be highly cultivated. I have investigated this matter for more than 20 years and thus founded our educational system the "Talent Education".

It is not true to say that children don't have abilities. We must reflect that it is the fault of the adults who are so poor and thoughtless in developing talents and characters.

Though our life is in the advanced scientific age it seems as if we are living in the era where no knowledge of human being exists.

Reflecting on these points and by investigating the source of human being, we find it our mission to prove and study the new educational system.

Thus this Talent Education was born.

A violin concert played by more than 1000 children, the youngest aging from 3 to 4, impress those who hear and make them think what must be done to benefit the future life of the children in the world. This movement is not aiming to make musicians but to attain a better world in which all people have high sensitivity for goodness, art and beauty.



Program

第一部

協奏曲 イ短調 第一楽章.....ヴィヴァルデイ
 Concert A minor 1st. mov. Vivardi

ル - レ.....バ ッ ハ
 Loure Bach

ガボット.....リューリー
 Gavotte Lully

メヌエット.....ボッケリーニ
 Menuett Boccherini

ブーレー (二部合奏).....ヘンデル
 Bouree Händel

メヌエット 第二番.....バ ッ ハ
 Menuett No. 2 Bach

パーペ ューム モビーレ.....鈴木 鎮一
 Perpetuum Mobile S. Suzuki

講 演.....会長 鈴木 鎮一

休 憩

(INTERMISSION)

Program

第二部

(チエロの合奏)

ガヴォット.....ポ ッ パー
 Gavotte Popper

ブーレー.....ヘンデル
 Bourree Händel

奏鳴曲 ト短調 第一・第二楽章.....エックレス
 Sonata G minor 1st.and 2nd. mov. Eccles

協奏曲 イ短調 第一楽章.....バ ッ ハ
 Concert A minor 1st. mov. Bach

協奏曲 ト短調 第一楽章.....ヴィヴァルデイ
 Concert G minor 1st. mov. Vivardi

協奏曲 ニ短調 第一楽章.....バ ッ ハ
 Concert in D minor for two Violins 1st. mov. Bach

メヌエット(六才の作品).....(二部合奏).....モーツァルト
 Menuett Mozart

アリア(六才の作品).....モーツァルト
 Aria Mozart

メヌエット 第三番.....(二部合奏).....バ ッ ハ
 Menuett No. 3 Bach

キラキラ星変奏曲.....鈴木 鎮一 編曲
 Twinkle, twinkle little star Arr. by S. Suzuki

第三部 全員・合奏・合唱

旅 愁.....オードウェイ
 Dreaming of Home and Mother J. P. Ordway

螢 の 光.....スコットランド民謡
 Auld Lange Syne Scotch Air



あゆみ

思い出のアルバムから
(1)



上 モンブラン (フランス・バイオリニスト)
27年3月 松本にて
中 サージェント (英国・指揮者)
28年1月 名古屋にて
下 シグッティ (オーストリア・バイオリニスト)
28年3月 名古屋にて



上 御観談中の皇太子殿下
と秩父宮妃殿下 第一回全国大会
中 皇太子殿下を中心に
各宮様及び各国外交団 第一回全国大会
下 秩父宮妃殿下と
安井東京都知事 第三回全国大会





思い出のアルバムから

(2)

- 上 ギーゼキング (フランス・ピアニスト)
28年3月 名古屋にて
- 中 オイストラッフ (ソビエト・バイオリニスト)
30年2月 東京にて
- 下 エルリー (左端) (フランス・バイオリニスト)
30年12月 松本にて



- 下 アイザックスターン (アメリカ・バイオリニスト)
29年5月 名古屋にて
- 中 スツットガルト室内絃楽団 (ドイツ)
30年3月 名古屋にて
- 上 梅蘭芳 (中国・京劇団)
31年6月 名古屋にて





社団法人 才能教育研究会